



録画を配信

町民からの意見収集は行うのか

町長 まちづくり座談会の場で、ご意見を伺う



さ さ き せい じ
佐々木誠司 議員

4月に発生した水道の断水事案を受け、緊急の際の情報伝達手段について質問しました。

町民からの意見収集

問 今回の事案を受け、今後に向けての評価と検証をするうえで町民からの情報収集は不可欠。改めて意見を聴く機会はあるか。

町長 まちづくり座談会の中で事案についてお詫びしながら、ご意見を伺う場を設けるなどを検討している。

町公式LINEの普及

問 町の公式LINEや防災アプリでの緊急情報の発信は非常に有効で、誰もが簡単に登録できるような工夫

が必要である。今後さらに普及させる手立てはあるか。

総務課長 「広報しらたか」での毎月の登録案内や、町ホームページのトップページにQRコードを載せるなどの工夫について、今後対応していきたいと考えている。

個別受信機の普及

問 スマホなどを持たない高齢世帯の方の中には、町が個別受信機を貸与していることを知らない方もおられる。貸与可能な受信機

はすべて活用すべきではないか。

総務課長 450台導入し、410台を貸与している。現在はケアマネージャーや防災の出前講座などを通じて周知しながら、普及に努めている。

町の広報車

問 4台の広報車でお知らせに回ったとのことだが、町の車だけでは台数に限りがある。各コミセンとの協働体制など、計画の段階から整えておくこと良いのではないか。

屋外拡声器の使用

問 今回、屋外拡声器からの放送はなかったが、自動音声システム以外の放送ができないような、技術的な課題などはあるのか。

町長 当初想定した以上に大きなご迷惑をおかけすることとなった。今後このような場合には、コミセンにも協力などをお願いするという姿勢を持ちながら取り組んでいきたい。

総務課長 国民保護に関する事や、自然災害対応での使用を念頭に置いていたので、今回は使用しなかった。

問 直ちに町民の命に関わるような重大な事案でなければ使用できないような、運用上の基準などはあるのか。

町長 運用は各自自治体に任されている。緊急に町民の生命と財産を守るということが基本姿勢の中にあり、軽々な運用はしたくないと認識している。

今回の事案を反省材料とし、どこまで利用できるのか緊急性を含めて検討していきたい。

LINE
白鷹町 公式アカウント

登録はこちらから

QRコード▶
を読み取り
友達登録



私もひとこと

水道が細いとは気づいていたが、夕方のニュースで事態を知りました。
(80代女性)